

2026 年 1 月 20 日

各位

会 社 名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 企画管理本部マネージャー 木下 淳
(TEL 03-6384-2866)

**マイボーム腺機能不全治療薬 TLM-001、Phase 2a 試験
FPI（最初の被験者への組入れ開始）のお知らせ**

株式会社坪田ラボ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：坪田一男、以下「当社」）は、マルホ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：杉田 淳）が準備を進めてきたマイボーム腺機能不全（MGD）治療薬 TLM-001 の MGD を伴うドライアイを対象とした Phase 2a 臨床試験において、最初の被験者への組入れ（FPI：First Patient In）が開始されたことを確認しましたので、お知らせいたします。

本件は、マルホ株式会社より、2026 年 1 月 6 日に最初の被験者への組入れが開始された旨の報告を受領したものです。

本試験は、臨床場で概念実証（POC：Proof of Concept）を行うものです。MGD はドライアイ領域の中核的な病態として認知が高まる一方、患者様の QOL に大きく影響し、依然として満たされていない医療ニーズが存在します。本剤は、こうした領域に新たな治療選択肢をもたらす可能性の検証段階に入り、開発の確度を高めるうえで重要な局面を迎えています。

当社は、患者様にとって魅力的かつ実装可能な新規治療の実現に貢献するとともに、マルホ株式会社との連携のもと、開発を着実に推進してまいります。

なお、本試験の進捗は、2025 年 10 月 9 日に公表した Phase 2a 試験への移行に関する開示内容および当社の事業計画の想定と概ね一致しております。

本件による 2026 年 3 月期の当社業績への直接的な影響はありませんが、当社の中長期的な成長基盤の強化に寄与するものと考えております。

MGDを伴うドライアイは、世界的に患者数が増加傾向にあるとされ、眼科領域においてアンメットメディカルニーズの高い代表的な疾患の一つです。当社は、引き続きマルホ株式会社との緊密な連携のもと、TLM-001の臨床開発を着実に推進し、患者様に新たな治療選択肢を提供できるよう取り組んでまいります。また、本プログラムの進展は、当社の成長戦略の中核をなすものであり、企業価値のさらなる向上にも資するものと考えております。

以上